

リニア新幹線工事で等々力緑地、周辺住宅への影響はどうか？

市民による市民のためのリニア説明会

主催:リニア新幹線を考える中原・高津の会、等々力緑地に親しむ会

とき 9月27日(土)午後2時～午後4時30分



ところ 川崎市民ミュージアム(等々力緑地内)研修室300



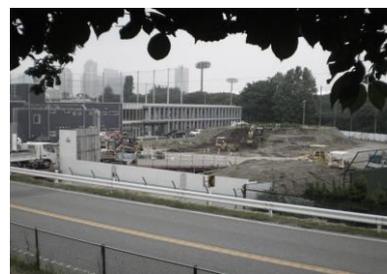
<リニア新幹線非常口工事>

- ★等々力の非常口は直径30m、深さ100m
- ★工事は10年以上続きます。
- ★騒音・振動、工事車両の走行など問題山積



等々力緑地の○印に非常口建設、実線はリニアの大深度トンネル(等々力→宮内4丁目→富士通方面へ)

<等々力立坑(非常口)予定地> (ENEOS野球部サフグラウンド)



<工事中は下の写真のようになる>



(東京外環道路換気口工事現場)

今回の住民説明会は、JR 東海が沿線住民に具体的な説明をしないので、3年間リニア問題に取り組んできた私たちグループが、リニア新幹線の最新の状況について皆さんにお伝えし皆さんが自らの問題として考えていただくことを願って開催するものです。参加をお待ちしています。

<川崎市民ミュージアム案内>

川崎市中原区等々力1-2
(等々力緑地内)

電話 044(754)4500
武蔵小杉駅よりバス
北口1番乗り場「杉40」



問合せ → リニア新幹線を考える中原・高津の会 ☎044-866-5785 天野



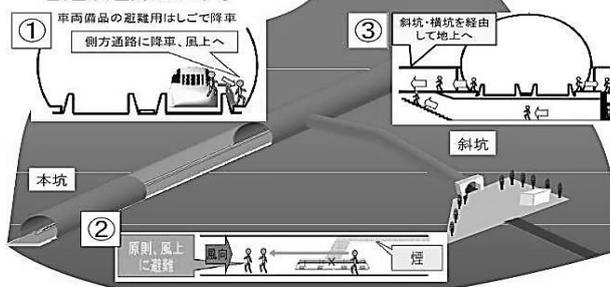
<リニア新幹線計画とは・・・>

- ★ルート 品川・名古屋間 286km
- ★走行方式 超電導磁気浮上式鉄道
- ★最高速度 505km(時速)
- ★建設費 5兆4,300億円
- ★工期 2014～2027年※
- ★事業主体 JR東海
- ※品川・名古屋間開業後、名古屋・大阪間着工
- ★286kmの内246km(86%)はトンネル
- ★工事残土 6,350万^m (東京ドーム54杯分)

<トンネル内の事故、乗客は長距離歩くことに>

万が一火災時にトンネル内停車した場合の避難方法

- ・トンネル内で停車した場合には、保守用通路、斜坑等を通り避難します。



出典：交通政策審議会陸上交通分科会鉄道部会中央新幹線小委員会資料に一部加筆

<地上部も開業時フードで覆われ見えない>



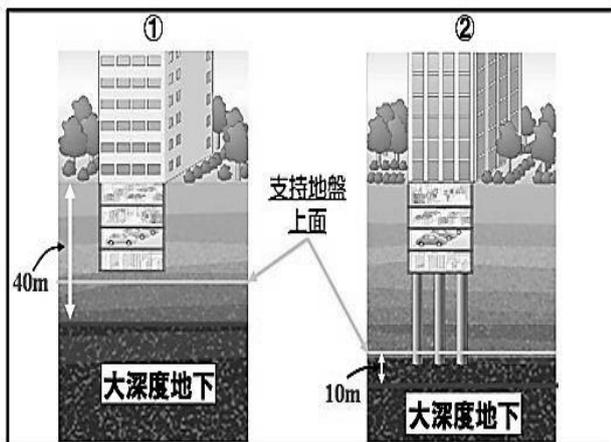
万が一火災時にトンネル内停車した場合の避難方法

<リニア新幹線の川崎市内16.3kmのルートは、地表から40m以深の大深度トンネルに>
地下40メートルや、建物の杭の下から10m以上深い所が「大深度地下」になります。「都市圏の大深度は公共事業に限り使用できる」という「大深度法」(2001年4月施行)により川崎の非常口やトンネル建設工事が行われます。大深度法が適用されれば、「地上権は及ばない」、「補償は必要ない」、「住民に事前に通知しなくても良い」ことになります。市街地に大深度トンネルができた例は無く、工事の影響について実証は未確認。



出典：交通政策審議会陸上交通分科会鉄道部会中央新幹線小委員会資料に一部加筆

(写真は山梨実験線を走るリニア～朝日新聞)



等々力非常口工事車両は狭い多摩川沿線道路をガス橋に向う予定。渋滞による大気汚染が心配。